

Kurilon Workshop News

クリロンワークショップ便り
No.39 2021 年 2 月

No.
39



蔡國華：Happy Hour（油彩 F6 号）



----Information----

クリロンワークショップ出版からのお知らせ

3月1日
発刊！

下村式なりたちシリーズ
となえて楽しむ 漢字の絵本 4 巻
「動物からできた漢字」編



下村式漢字の絵本もついに4巻目が発売されます。

今回は動物からできた漢字が勢揃い！

かんたくとことはちゃんと動物たちがどんなお話を
くりひろげるか！

未就学のお子様から小学生のお子様まで楽しく漢字
を学べます。大人が見ても目からウロコ・・・(?)

詳しくは、<https://book.kurilon-ws.com>

でお知らせいたします！

デザイン：加藤麻依子（クリロンワークショップ）

ユーザーの声をフィルムに表現する

クリロン化成株式会社

<http://www.kurilon.co.jp>

KURILON Workshop

<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

Art Space
画空間

<http://www.a-kukan.com/>

Studio
My空間

<http://www.a-kukan.com/mykukan/>



△記念誌「60年のあゆみ」より

本年を60周年の年とし、新規事業や新たな活動などを展開して、当社のこれからの姿を色々な面で表していきたいと考えています。

当社は50周年から10年間を経て大きく変貌しました。売上は2倍強になり、子会社5社を加えた社員数は600名を超えました。これは量の拡大の側面ですが、企業には質の充実がより重要です。

質の充実には究極がなく、目指す方向が在るだけです。その方向に向かい、永い年月一貫して進んでいきます。それは一直線ではなく、「山に登るため谷に下る」こともある道となります。それだけに目指す方向への確固とした判断と信念とが欠かせません。

企業における質の充実とは、目指す方向への判断や信念（それが経営理念です）が、社員に血肉化し組織文化として定着している程度だとも言えます。

この10年間、クリロン化成らしい組織文化が次第に形成されてきましたが、まだまだ道なかなばの状況です。社員の皆さんが第3の創業期（※）を担い、質の充実への道をさらに進んで欲しい。60周年を迎えて、そうした気持ちがさらに強まりました。

代表取締役社長 栗原清一

※当社は塩ビインフレメーカーとして創業、5層共押出し専業メーカーへの転換期を「第2の創業期」、複合フィルムのフロンティアメーカーを目指す今を、「第3の創業期」と位置付けています。

北海道に新しい寮が完成しました



△安全祈願祭の様子

北海道製造課 日和健一
北海道営業所 増田麻紀

設計や内装のインテリア等、ご尽力いただきました関係者の皆様へは感謝の気持ちで一杯です。

北海道は本格的に寒さが厳しくなり雪や水道凍結等の問題もありますが、入寮者がのびのびと暮らせるよう、皆でしっかりと管理していきます。



▷清新寮

この度、北海道事業所から徒歩5分ほどの場所に、自社社員寮『清新寮』が完成致しました。

2015年に北海道新工場建設、そして今回の清新寮の建設に携わり、普段の業務とはまた違った達成感に溢れています。

新寮完成の謝恩会は、コロナ禍で延期となつてしまいが大変残念でしたが、昨年12月8日に清新寮の今後の安全を願い、安全祈願祭を執行了いました。

『清新寮』の『清新（セイシン）』は、「新しく、生き生きとしていくこと。さわやかなさま。」を意味します。若人達の寮に相応しい言葉で、当社の精神にも適うという事で、社長の栗原が命名致しました。

新春書き初め

今年1月5日、MY空間にて新春書き初めを開催。

素敵な正月飾りの中、幼稚園児の初書道、小学生の硬筆・書道、大人の筆ペン・書道と盛り沢山な内容で行いました。

書き初め用紙に向かう小学生の眼差しは真剣そのもの。指導する私も気合いが入りました。



書道家 坂田紅陽



前に書いたものよりも上手く書けた時の満足げな表情、とっても可愛かったです。

皆さんの新年の抱負を寄せ書きに書いて終了〜！

マスクをして距離を取りながら実施しましたが、終始穏やかな空間で、とても心地良い新年の始まりとなりました。

蔡國華作品展 SESSION

— 新作と collection 展 —

画空間では昨年11月25日から12月1日まで蔡國華作品展「SESSION 新作とコレクション展」を開催致しました。

今回の展覧会は、油彩、水彩、アクリル作品からなる「ジャズ奏者シリーズ」の新作9点を含む計15点を展示しました。

躍動感あるジャズ奏者の作品からは、セッションのリズムが会場に響いてくるように感じられ、蔡氏の世界観を十分に堪能していただけたように思います。

今回は来日が始まった蔡氏に代わり、会場ではオンラインでデッサンの様子を撮影した動画を流しました（動画は画空間HPの特設ページにUP中）。また、蔡氏とのコラボによる「2021年アートスペース画空間10周年記念カレンダー」も、会場で販売し好評をいただきました。

ご来場の皆様には、コロナ禍の中、安心してご覧いただけるよう、感染症対策として様々なお願いにご協力いただきありがとうございました。

クリロンワークショップ 野首恵子

My空間の Christmas



昨年のイベントは、コロナ禍で教室の生徒さんやお母さん、KWS（クリロンワークショップ）のメンバーが集まり交流するという機会がほとんどなくなりました。

そのため、年間最後のクリスマスはスタジオに毎年恒例のツリーの飾りと窓際のクリスマスディスプレイの他、子供たちがサンタさんへのお手紙を書くイベントを実施しました。

サンタさんへのお手紙はメンバーの手作りポストに納められ、ツリーに飾ったお菓子のアドベントギフトは、子供たちへのプレゼントになり、気分が高まりました。

KWSメンバーはそれぞれの一年の思いを込めてメッセージカードを書き、スタジオにペナント風にカードをつるし、皆さんに見てもらいました。素敵な手作りカードが沢山あり大いに楽しめました。

2020年は皆さんの行動に大きな制限がかけられ、なかなか思うようにできない事が多くありましたが、最後に皆さんの暖かなメッセージが一番のギフトになりました。

インテリアデザイナー 栗栖信子

Ea Kristine Clarisse Tulin Experiments in Art



イアさんは東京農工大学大学院博士課程在学中で応用生物学科に所属し、糖鎖生物学を中心に研究をされているフイリピンからの留学生です。顕微鏡で覗いている分子構造にアート性を見出し表現したユニークな発想の展覧会。折しもコロナ禍中での発表。生命の美しさ、強さ、儚さを表現した未来の若い科学者の展覧会は私たちにどう生きるかということへのテーゼのようなものを感じさせてくれました。

日本で頑張っている留学生仲間達が来廊し画空間スタッフ一同応援の気持ちで見守る暖かな展覧会でした。

クリロンワークショップ 所由香